

# 年賀に寄せて

雪印種苗株式会社専務取締役

五十嵐

清

新年おめでとうございます。

年頭に当り「雪印のたね」を御愛用願っている皆様の御多幸と御繁栄を祈り、心から感謝の意を捧げます。

昨年は牛乳の消費量が生産量に及ばないために、だぶついて乳価が下り、とても採算がとれぬから牛を売って酪農をやめるといふ声が各地に起り、せつかく盛んになって来たわが国の酪農、特に伸び方の大きかつた府県でその動揺が多かつた。それは勿論、戦後大都市の市乳やアイスクリームがどんどん売れ出し、農家の庭先で牛乳一升六十円七十円で飛ぶように売れたところに、乳牛を飼いはじめた人々が、一升四十円では購入飼料代を払えば損をするといつて、牛を捨値で売払い、もとの百姓に帰つた農家が少なくないからだ。

ところが一方にはこんな事例もある。乳価一升六十円ころに、刈草と米糠、糠などで二頭の牛から乳をしぼつて相当な利益を収めた。五十円に値下りしたときは損ではないが利益が少なくなつた。そのころ牛一頭を飼つていた近所の農家に『牛を買値の二割引で売るから買い取つてくれ』と頼まれた。それではということになつて、水田の裏作に二反歩、麦の代りに牧草類や青刈作物を作つて青刈やサイレーシにして飼料の増産をはじめ、米糠や糠の単用をやめて配合飼料を与えて採算が良くなるから引取つてくれ』といつて二頭の乳牛をおしつられた。さあ、五頭の乳牛となつては真剣勝負をする外はない。と、飼料研究に没頭した結果は、最後の肚をきめて、水田一反五畝を畑に換え、春から晩秋までいつても青草を与え続けられるように、いろいろの青刈作物を作つて飼料の自給度を高め、水田裏作の飼料栽培も四一反に伸ばし、青草とサイレーシと根菜類を増産して年間の自給に成功し、十分採算がとれるまでにごこぎつけた。更に堆肥と牧草で土壌も肥沃になつたせいか、米も二一三割増収されるようになった。

これ等の事例は、牛をあきらめて投げ出すか、安い乳価を基準として採算をとる手段方法を研究するか、二つの道をお教へている。

最後に酪農家の方々にお願ひしたい。

一 低乳価でも有利に酪農経営ができるように、経済的能率的な飼育頭数まで乳牛をふやして下さる。

二 水田の裏作にも、畑作にも、そして山野にも牧草を活用して、良質で安い飼料を自給して下さい。そして一日も早く、消費大衆が豆腐、納豆、魚を買うのと同様に、気軽に牛乳、バター、チーズをどんどん愛用できる日をつくつて下さい。

## 牧草と園芸 春季特集号 目次

◎この春お奨めしたい主な飼料作物(写真)	二
◎年賀に寄せて	三
◎新春寒冷地飼料作物栽培の計画	四

◎赤クローバーとオーチャードの仲

◎根の長い草ルーサンとブROOMグラス

◎集約繁放牧地の造り方

◎輪作採草地の増収対策

◎H・ワンライとベレニアルライグラス

◎赤クローバーの新品種

◎チモン

◎未利用地の草生改良

◎一〇〇米も伸びるラデノクローバー

◎ルーサンの品種

◎牧草混播の例

◎青刈類の集約栽培

◎高栄養のエンシレーシをつくる飼料作物の栽培

◎ケールとレープ

◎玉蜀黍一代雑種

◎冬季貯蔵用根菜類の多収獲方法

◎夏のツナギ飼料として何がよいか

◎早春利用の青刈作物

◎石灰を嫌うルーピンとセラデラ

◎冬の舍飼前に与える青刈類

◎ポソキン

◎アルサイククローバーとメドウフェスク

◎クリムソンクローバー

◎春暖地春と夏の飼料作物栽培相談室

◎春の草地改良

◎砂地の芝草バーミニダグラス

◎サブクローバー

◎夏がれ時の飼料栽培

◎葉の多い青刈作物テオシントと耐病性スーダングラス

◎夏がれのしない青刈作物

◎水田前作利用の飼料栽培

◎大葉つるまめとカウピー

◎水田畦畔の草づくり

◎園地の春まき飼料作物

◎暑さ知らずの當緑牧草トルオートとバツフット

◎保全牧草K三フェスクとワイピンググラス

◎畑地を利用する飼料栽培